

有田川町議会広報

第71号

令和5年11月発行

QRコードから  
議会の情報を  
ご覧ください



有田川町議会 検索

# かわら版



# ライブ配信(生中継)やっています!

令和5年第2回定例会から「ライブ配信(生中継)」を開始!  
リアルタイムで議会の様をお届けしています。録画配信とともに  
パソコンやスマートフォンなどでお気軽にご覧ください



令和5年第3回定例会の一般質問は9月14日に行われ、7人の議員が登壇しました。  
各議員の一般質問は紙面の都合上、要約したものを掲載しております。

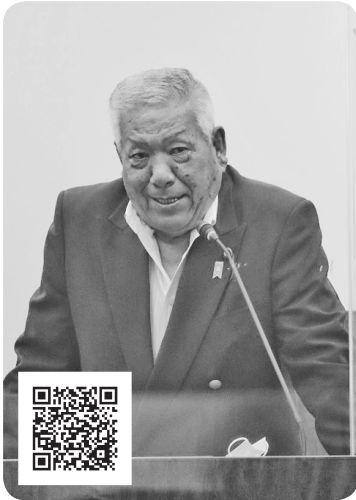
## 一 般 質 問 7人の議員が登壇

殿 井 堯	防災公園の計画はどこまで	P 3
椿 原 竜 二	欠かせない。保育の充実!	P 4
栗 山 昌 之	みんなが集う「ALEC」に	P 5
西 弘 義	JR藤並駅周辺の雨水対策は	P 6
堀 江 眞智子	学童保育料の減免を	P 7
増 谷 憲	有田地域で出産できることに	P 8
岡 省 吾	活性化に遊休施設を活用しては	P 9

(おもな質問項目を掲載しています)

※各議員ページのQRコードを読み取ると、一般質問の動画を視聴できます。

次回、令和5年第4回定例会の一般質問は、12月14日、15日を予定しています。



殿 井 堯

# 防災公園の計画はどこまで

**問** 異常気象の中でゲリラ豪雨が頻繁に発生している。有田川町の防災は十分か。

防災公園に対する町民の意識把握や説明はどのようにされるのか。また、計画予定地の不安や疑問の解消はどうか。

**答** 都市計画マスタープランの「まちづくり住民アンケート調査」で公園・緑地の整備を求める意見が多くあった。

また、避難地となる公園の防災機能の向上、憩いや散歩のための公園、緑道などの整備、スポーツレクリエーション施設という意見もあった。

町として、今回の見直しで防災機能を備えた都市公園の整備を検討している。

アンケートをとり、その結果を踏まえ、基本計画を策定し12月頃に住民説明会を開催したい。

また、整備する上で安全や必要な排水対策など、関係区と協議しながら不安や疑問の解消に取り組む。

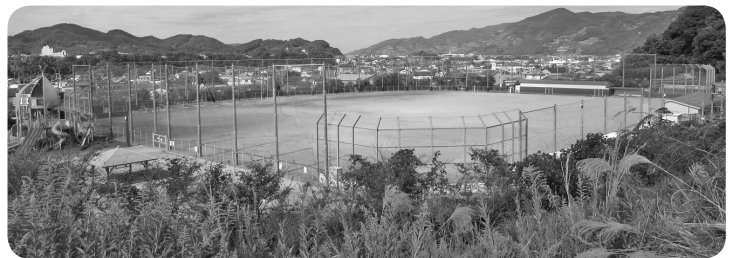
**問** 防災公園は吉備地域以外にも必要だが、

清水区に建設中の公園や、廃校のグラウンドに計画できないか。

**答** 清水行政局の駐車場と合わせて公園も避難所に利用できるが、避難住宅の建設は無理である。

過去にも同僚議員が質問した、白馬中学校グラウンドは、その両方が可能である。

孤立する地域も出てくるので、有田振興局と密に連絡をとり対応していく。



明恵の里スポーツ公園も防災としての活用を

## 雨水対策は

### 急務だ

本町も雨水を一時的に緩和するため、貯水できる場所があれば浸水被害の軽減になると考える。

**問** 産業建設住民常任委員会が雨水対策の視察研修を熊本県で行った。そこは「雨水浸透柵」を個人宅に設置し、雨水排水量を抑制するものであった。

本町でもJR藤並駅東側の周辺など、冠水する地域に雨水を貯める施設をつくってはどうか。

**答** 熊本は土地柄もあり、水源涵養を目的としている。

**問** 雨が40ミリから100ミリ降れば水が溜まる場所は決まっている。対応できるのではないか。

**答** 1時間あたりの雨量が80ミリも降れば水路などは耐えられない。自分の命は自分で守っていただけよう広報したい。徐々にでも排水対策と河川整備を含めて計画していきたい。



# 欠かせない。保育の充実!



椿原 竜二



**問** 本町では「待機児童が発生しないように取り組む」と何度も聞いてきた。  
先日、保育所に入所できないとのご相談をいただいた。  
本町で待機児童は発生しているのか。

**答** 一部の申込者の方で時間がかかったが、現在はすべて解決して

いる。  
しかし、例年より調整に時間を要したことは事実である。

**問** 時間を要した原因は。また、どのくらいの時間がかかったのか。

**答** 年度途中の入所申し込み（転入者）が多かったことが原因である。解決までに約1カ月の時間を要した。

**問** 有田川町を選んでは大変喜ばしい。保育士確保にもっと力を入れて取り組むべきではないか。

**答** 保育士の増員を進めていきたい。

**問** 絵本コンクールは今後どうするのか。

**答** 出版業界などで「絵本のまち」という認識が高くなってきている。しかし、町内の認知度を上げ、絵本による子育て支援の活性化を図ることが課題となっている。  
コンクールをすることが目的になっていくことは否めない。

**問** これまで行ってきた絵本コンクールの評価は。

**答** 出版業界などで「絵本のまち」という認識が高くなってきている。しかし、町内の認知度を上げ、絵本による子育て支援の活性化を図ることが課題となっている。  
コンクールをすることが目的になっていくことは否めない。

## 絵本のまち 有田川

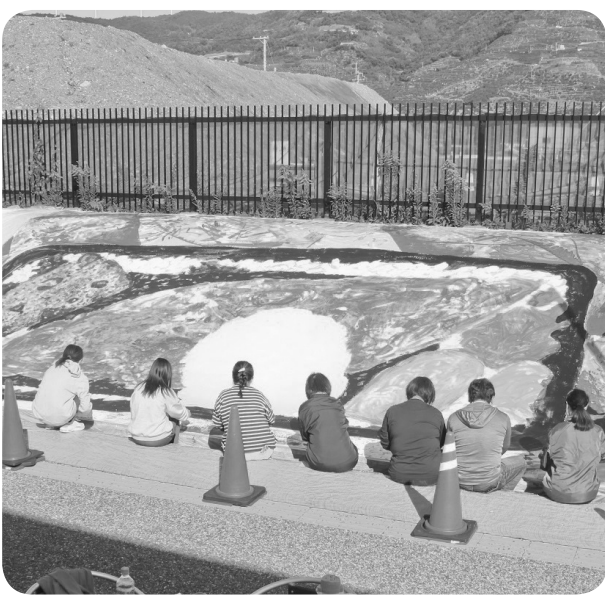
**問** 築いてきた数々の有名な絵本作家や、編集者の皆さんとのつながりを大事にし、子どもたちと受賞者の皆さんとが、触れ合えるような企画を盛り込む。令和6年度から、実行委員会の主催事業として開催していきたい。

**答** 築いてきた数々の有名な絵本作家や、編集者の皆さんとのつながりを大事にし、子どもたちと受賞者の皆さんとが、触れ合えるような企画を盛り込む。令和6年度から、実行委員会の主催事業として開催していきたい。

**問** 一番の成果は「絵本コンシェルジュ」や「よみきかせ隊」の方々など、熱意をもって積極的に取り組んで

**答** 教育委員会も積極的に取り組んでいく。活躍の場を設けたり、力をお借りしながら良くなっていきたい。

※その他「大阪・関西万博について」も質問しました。



絵本イベントは大盛況



栗山 昌之

# みんなが集う「ALEC」に

**問** アレックの運営協議会が設置されて、協議した内容は、

**答** 運営方針は、多くの意見をいただいております、これらを参考に改善していく。

**問** 原画収集の条例・規則はつくる気があるのか。

**答** 早い段階で作成していきたい。

**問** ポツポ絵本館の運営方針は。

**答** 利用者のニーズに合った営業時間の検討を進める。

**問** アレック職員のサービス対応は。



アレック

## 教員の

### 負担軽減は

**答** 職員全体の接遇研修やアレック内での研修をしていきたい。

**問** 学校教員の負担軽減として給食費の公会計管理化は。

**答** 教職員の業務負担の軽減につながる。実施に向け検討中である。

**問** クラブ活動の顧

**問** 指導者を外部指導者へ移行する考えは。

**答** 運動部活動の外部移行は実施に向け、研究している。

**問** 教員の超過勤務時間の推移は。

**答** 積算は行っていないが、勤務時間は少なくなってきた。

**問** 全国学力・学習状況調査結果を、学校単位で公表しないのか。

**答** 公平性を欠くため、学校別の公表はしない。情報発信のあり方を研究していく。

研究していく。

**問** 家庭での自己学習も必要である。どのような取り組みをしているか。

**答** 手引きなどの作成や\*AIドリルを導入している。

**問** チャットGPTは教育委員会で、どのような対応をしているか。

**答** 教育委員会職員で研修を受けている。

**問** 教員はチャットGPTを、どの程度理解されているか。

**答** 教職員で情報を共有化している段階である。

## 職員の コンプライアンスは

**問** 職員の研修は定期的な開催を行っているか。

**答** 昨年2月にコンプライアンス研修を実施。今後も定期的に研修を

行う。

なお、有田川町コンプライアンス行動指針を策定した。

**問** 職員研修の年間計画は。

**答** 採用時や、役職についた時などに行っている。

**問** チャットGPTの運用方針は。

**答** ガイドラインを策定し、試験導入をはじめた。

**問** 今後のDX計画は。

**答** 基幹系システムの標準化、各種手数料キヤッシュレス決済システムを中心に進めている。

## 用語

### ● AIドリル

タブレット端末などで学べる教材ソフト。子どもの回答をAIが分析し、次に取り組むべき問題を自動で出題したり、個人の習熟度に応じた学習ができる。

# JR藤並駅周辺の雨水対策は



西 弘 義



JR藤並駅周辺の冠水地域

**問** JR藤並駅周辺は、大雨降雨時に慢性的に冠水する。どのように対策をしていくのか。

**答** 冠水対策は、関係区長や住民の方の情報をもとに、修繕箇所・改良箇所・危険箇所を確認しながら進める。



冠水した地域

**問** 水路や排水路の改修および修繕はいつごろか。

**答** 県や関係者と協議しながら排水能力などを考慮し、流下能力向上に向け取り組んでいく。



徳田地内の埋立地

## 池の埋立地を 防災公園化か

**問** 埋め立ては、どのような工法をとったのか。

**答** また確認しているのか。

**問** 現在、個人の所有地なので今は何も言える段階ではない。

**問** 池の特性を考慮して埋め立てをしたのか。

**答** 現在、基本計画として構想を立てている段階である。

他の方が所有している土地であり、埋め立て工法など、現時点で申し上げるのは適当ではない。

**問** 池底の泥は有機物の残りがすだ。土地の活用でガスが発生する危険性があるのではないか。それに対処する方法はあるのか。

**答** 防災公園、都市公園として使用に耐えられないのであれば、改良できるかどうか検討していく。



堀江 眞智子

# 学童保育料の減免を

**問** 女性の社会進出とともに、結婚・出産後も仕事を続ける女性が増えている。

安心して子どもを預けられるような環境整備は、今後ますます重要になると考えられる。本町も、学童保育のニーズは高まっていくことが予想される。学童保育を利用したいと願っている家庭が、利用しやすいように「生活保護世帯」と「就学援助世帯」の学童保育料を減免してはどうか。



藤並第1学童保育所

**答** 近隣市町で、学童保育料条例を制定している市町は減免制度を設けており、条例を制定していない町でも保育料の減免を行っている。本町も「生活保護世帯」と「就学援助世帯」の減免措置実施に向け、早期に検討していきたい。



天満川

## 安心できる 災害対策を

**問** 大雨での被害が起きないための対策として、天満川・鳥尾川・庄川・有田川の本年度事業進捗状況は。

**答** 県に確認したところ、天満川は現在、河道拡幅の計画を進めてくれている。鳥尾川は、上中島橋、吉備小橋付近を浚せつする予定となっている。庄川は実施している。



天満川浚せつ

有田川は、JR高架橋付近の樹木伐採、吉備橋と田殿橋の中間付近で河道掘削、田殿大橋下流左岸で、低水護岸の施工を予定している。いずれの工事や作業

も出水期を避けて実施されている。これから県に強く要望していきたい。

**問** 災害による被害を受けた時、町の相談窓口はどこか。  
**答** 相談窓口は、災害時の相談内容が多岐にわたり、内容により対応する部署が異なる。防災対策の担当は総務課であり、総務政策部に連絡してくれば、相談内容に応じて必要な部署につないで適切に対応する。

# 有田地域で出産できることに



増谷 憲

**問** 分娩・出産が民間の産科診療所で行う運びになった。開所の時期と場所は。

**答** また、開所にあたり有田地方（有田市・湯浅町・広川町・有田川町）で財政支援するとなっているが詳細は。令和6年4月開所の予定で、有田市糸我の糸我保育所を改修する。財政支援は1市3町で協議中である。

## 子育て支援の充実を

**問** 1市3町で、病院のベッド数を減らす協議が行われ、その中

で産科診療所のベッド数が12床必要かの議論になったとき、有田市の「マリー・ユー」（子育て支援のパッケージ）や3町の子育て支援の実績が、ベッド数を決定づける大きな要因になった。そこからより子育て支援の充実が求められている。学校給食の無償化は、6月県議会で「子育て世帯に対する経済的負担の軽減と学校での給食費徴収の事務負担の軽減になる。また国や近畿ブロック知事会でも無償化の要望をしている。無償化をすると



建設中のファミリー産院ありだ

## 有田市 マリー・ユー事業 毎年約2億円（ふるさと応援寄付金を財源）

新婚新生活支援事業	家賃・引っ越し代等最大60万円
	世話になった方へ市の製品の贈呈
スマイルチケット事業	妊娠時2万円・出産時3万円
出産支援事業	1人目10万円、2人目30万円 3人目以降50万円
節目応援事業	小中学校入学する世帯に 1人10万円
病児・産後児保育無料化	小6までの病児を無料で保育
子ども医療費助成事業	高校卒業まで医療費無料
子育て世代活動支援センター	wakuwaku
奨学金返還助成事業	29歳までの奨学金返還額へ補助
	最大年間20万円
空き家を活用	最大100万円補助
三世代定住支援	最大20万円補助
空き地を活用	最大120万円補助
住宅リフォーム支援	最大20万円補助
空き家の家財道具等の処分支援	最大10万円補助
創業支援補助	最大50万円補助
販路開拓支援補助	最大20万円補助
新規農業・漁業就業者担い手育成支援	
契約の仲介手数料の補助	最大5万円

なると財源がどれだけいるか市町村とも協議したい」と知事が答弁している。

**問** 県と協議していただけるか。

**答** 知事の第一の公約であり、令和7年度中にしたいと聞いた。そのときできるだけ早く、また全市町村が一律にできるように求めた。

**問** 大学へいくと、奨学金返済は30代半ばまで返済が続く経済的負担が大きすぎる。支援

はどうか。

**答** また、修学旅行費への支援はどうか。

**問** いいことだと思いが、財政的なこともある。いまある事業の精査の中で考えていきたい。

## 学校給食費の徴収は町で

**問** 学校給食費の徴収業務は教職員の仕事の負担軽減のため、学校

でなく町でやりなさいとなっている。有田では湯浅町で実施済み。本町では、まだできていない理由と移行のめどはどうか。

**答** センターや自校方式など給食の提供方法が違い、献立も各学校で作っている。

また、食材を各学校が地元で購入していることから、町で食材の調達を行うことは難しいが、早期の実現に向けて検討していく。





岡 省 吾

# 活性化に 遊休施設を活用しては

**問** 遊休施設の活用をどう考えているか。

**答** 遊休施設を地域の方や団体などに利用していただき、地域の活性化につながれば喜ばしいことである。

しかし、長期に利用されていない施設や老朽化が著しい施設の状態を鑑み、解体撤去も考えなければならぬ。

**問** 現在、地域や法人などで利用いただいている施設の維持管理のあり方はどうか。

**答** 地域の活性化に寄与すると認められた場合は、使用料を免除。光熱水費や施設の改修・修繕にあつては、利用者負担としている。



地域活性化に廃校を利用した「しろにし」

**問** 元々、老朽化した施設を活用することによる建物劣化や台風などでの被災も考えられる。

**答** 修繕にかさむ費用を捻出できない声も聞かれます。少し寛大な配慮ができませんか。

**答** 災害による被災は、保険をかけている施設もあるのですが、修繕費用は保険金で賄われる。また、補助金の対象となる場合もあるため、都度、相談いただきました。

## 防災意識の 向上に

**問** 広報「ありだがわ」では毎年9月号で防災特集を組み、災害に備えるための啓発にあたっている。

共助の観点から、一般的に災害弱者と呼ばれる方々の支援策である避難行動支援者登録。災害時、支援が必要とされる対象者数に対して、登録者はどのくらいか。

**答** 令和5年9月7日現在で対象者は5732名。うち登録者は1362名。

**問** 登録者率が約24%で低いように感じる。その理由をどう分析されているか。

**答** 対象者である65歳以上の方はまだまだ元気な方が多く、地区によっては支援する側に回られる方が多くいると認識している。

要介護3以上の方で、施設入所されている方は、施設内で避難を行うため、登録していただいている。児童生徒が当事者意識を持ち、さらに防災への意識向上を図る取り組みを今後も支援していく。

**問** 教育現場での防災学習はどうか。

**答** 大災害を想定した緊張感ある防災教育を

9  
2023 September  
vol.213

人が強い、想いを結び、新しい流れをつくるまち

広報 **ありがたがわ**

9月1日は防災の日

「その時」のために  
**今、備える**

南海トラフ  
巨大地震

南海トラフ巨大地震の被害想定、有田川町の被害想定、避難行動要支援者の登録状況、避難所開設の状況、避難所運営委員会の活動状況、避難所運営委員会の活動状況、避難所運営委員会の活動状況

有田川町での建物・人的被害などの想定

震 度：6弱～6強  
建物被害：全壊890棟、半壊3,200棟  
人的被害：死亡38人、重傷者55人、軽傷者490人  
避難者数：1日後1,200人、1週間後4,000人

避難するときの注意点

- 正確な情報を得る
- むやみに動かない
- ガラスなどでけがをする危険があるので、はだして歩かない
- 通電火災を防ぐため、ブレーカーを落とす
- ガスの元栓を閉める
- 夜間の避難時は配管や配線への転落が危しきりやすすため、懐中電灯を使い、広い道を通る
- 落下物から身を守る
- 切れた電線を触らない
- 救助活動を行う場合は複数人で行う
- 緊急車両の妨げにならないので、車は使わない

使いつ、ご存知ですか？「黄色い旗」

災害発生時は、避難の目安として「黄色い旗」が設置されています。黄色い旗は、その家の被害想定が、避難所運営委員会の調査で、被害が想定された家、無被害と想定された家、黄色い旗が設置されています。黄色い旗は、その家の被害想定が、避難所運営委員会の調査で、被害が想定された家、無被害と想定された家、黄色い旗が設置されています。

# 一般会計補正予算<総額> 18億7446万円 うち、災害復旧費に17億6985万円

令和5年第3回定例会は、9月5日から21日までの日程で開催し、本定例会に提案された議案は、原案の通り可決しました。なお、令和4年度一般会計決算ならびに各特別会計決算も上程されましたが、水道事業会計決算以外の決算は閉会中に決算審査特別委員会で審査し、12月定例会で採決します。



防球ネットの修繕が急がれる

## 補正予算

18億7446万円  
〈おもな事業〉

○災害復旧費

17億6985万円

6月2日の豪雨による町道や農地、農道などの災害復旧事業。

○戸籍システム等の改修 1038万円

○明恵の里スポーツ公園防球ネット修繕 455万円

○緊急自然災害防止対策事業 1600万円

○がん患者医療用補正具購入補助 30万円

**問** がん患者への医療用補正具購入補助金が予算化された。補助内容はどうか。

**答** ウイッグは2分の1補助で、上限2万円。人工乳房・人工乳頭は2分の1補助で、上限2万円。

乳房補正下着は2分の1補助で、上限1万円を予定。



エアコン修繕を行う金屋第2保育所

円を予定。

**問** 県費100%補助なので町も支援すべきではないか。

**答** 今回、県の補助基準どおりの予算を計上している。

初めての事業で、どれだけ申請があるか、他の要望があるかなど今後、考えていきたい。

○金屋第2保育所エアコン修繕 80万円

○会計年度任用職員報酬 295万円

非常勤保育士3名分の報酬。

## 規約の制定

○消防通信指令事務協議会規約の制定

**問** 有田川町に設置する指令室の定数は何人か。

また、有田川町、湯浅広川消防組合は、それぞれ何人配置する予定か。



消防指令室（有田川町）

**答** いま協議中であるが、定数は10人以下。有田川町から最大5人、湯浅広川消防組合からは5人を出す方向で協議中である。

**問** 指令室の維持経費は、有田川町の一般会計予算になるが、今年度の予算措置はどうか。また、令和6年度は当初予算で予算化されるか。

**答** 令和5年度は、予算はほとんど発生しない。

令和6年度は指令施設などの予算をお願いすることになる。

**問** 令和4年度の受信実績は、5年間の推移でみると一番多いが、湯浅広川消防組合との共同になれば1年間の受信件数の想定はどうなるか。

**答** 有田川町の令和4年度中の受信件数は2068件。湯浅広川消防組合も同じように約2000

件あり、合わせて年間約4000件見込んでいる。対応は、十分可能である。

**指定管理の指定**

○しみずふれあいの丘スポーツパーク

指定管理者・株式会社 全笑

指定期間・令和5年10月1日から令和8年3月31日まで

○藤並駅観光案内所

指定管理者・株式会社 オレンジライフ

指定期間・令和5年10月1日から令和8年3月31日まで

**報告**

◎令和4年度一般財団法人有田川町ふるさと開発公社の決算

**財産の取得**

◎2tおよび3tパッカー車の購入



**問** ごみ収集車の安全管理上、どのような装置をつけるのか。

**答** 安全対策は、緊急の停止装置が各所に設けている。

またカメラを装着しており、そのカメラで人のまき込みを感知して停止できるようになっている。

**決算審査特別委員会**

9月13日、令和4年度水道事業会計剰余金の処分および決算を認定しました。

**【水道事業会計】**

業務概要は、給水件数が7224件で124件の増加、対前年度比18%増加しています。

年間有収水量は、約3万1000m<sup>3</sup>増加し、対前年度比15.3%増加しています。

これは漏水対策や修繕工事を実施したことによりです。

営業収益から営業費用を差し引いた営業利益は、前年度より増加しています。

供給単価は、給水原価を上回っていることから、料金収入のみで必要経費がまかなわれており、経営状況も良好でした。

今後も、経営効率を重視し、有収率の向上に向けて継続的な漏水調査の取り組みを行うとともに、老朽管の更新なども計画的に行っていくこととした。

最後に、今後も引き続き安心・安全な飲料水を安定して供給できる体制づくりに、より一層の取り組みを要望しました。

**【委員会構成】**

- ◎林 宣男
- 西 弘義
- 濃添 勇作
- 栗山 昌之
- 本下 雅敏
- 椿原 竜二
- 中島 詳裕
- 星田 仁志
- 岡 省吾
- 堀江 眞智子
- 増谷 憲
- 殿井 堯

◎委員長、○副委員長  
\*谷畑議長と森谷監査委員は除く



# 地域の拠点施設として 愛されるように

8月21日に「しろにし」（旧城山西小学校）において、意見交換会を開催しました。意見内容の一部を抜粋し、掲載いたします。今回の開催目的は「有田川町内で活発に活動されている皆さんの声を直接聞いてみよう」という広聴活動の一環として行いました。当日は、和やかな雰囲気の中で、意見が交わされ、予定時間を超過するほどの濃密な意見交換会となりました。

**問** オープン以来の状況はどうですか？

**答** 6月にオープンして現在、2名の方が長期入居しています。また、短期滞在として、龍谷大学の皆さんや山椒収穫レスキュー、地域へ帰省された方々の利用もありました。

**問** オープンして良かった点はどうですか？

**答** 施設内にカフェスペースを併設していますので、二川地域の皆さんが気軽にお越しくださり、滞在者との交流が図られています。また、法事の際に施設を利用くださり、地域住民の認知度も上がっています。特に廃校利用によって地域がにぎやかになっていくことへの喜びの声が聞けることがうれしいことですね。

**問** 今後「しろにし」のめざすところは？

**答** 「しろにし」が清水地域のハブとなり、就業支援のほか、体験型観光などの窓口として関係人口を増やす手助けができればと思っています。

**問** 入居者の声はどうですか？

**答** シェアハウスのな構造から、荷物を置く場所が少ないこと。シヤワーしかないため冬場の時期は浴槽が欲しいという声や、キッチン共用なため自炊の不便などが挙げられ、何年も住むことが難しいんじゃないかという苦言がありました。その反面、家賃や電気代が安いことや共有部の管理のしやすさ、食事に提供される仕出し弁当がおいしいなど、良い声もいただいています。

**問** 「しろにし」や滞在者の地元行事への参加・協力などはどうですか？

**答** 地域で開催された盆踊り大会や、その他の行事ごとに参加し、地域に溶け込めるようにしています。地域の皆さんからは「将来的には二川歌舞伎にも駆り出すからよ」と言われています（笑）。

その反面、家賃や電気代が安いことや共有部の管理のしやすさ、食事に提供される仕出し弁当がおいしいなど、良い声もいただいています。



**問** 運営してみて、不足している点などありますか？

**答** 城山出張所や民間会社を併設しているので、駐車スペースが足りないのが一番の不足点です。

**問** 今後の課題をどう考えていますか？

**答** 施設の運営にかかる経費の捻出が大きな課題です。そのため、サポーター制度を導入し、会費納入に協力くださる事業者や個人会員を募っています。サポーター会費は、寮の賃貸借権や宿泊割引などに利用いただけます。また、広報にも力を入れ、広く皆さんに施設を知ってもらうことが必要だと思っています。

**問** 町行政に伝えたいことはありますか？

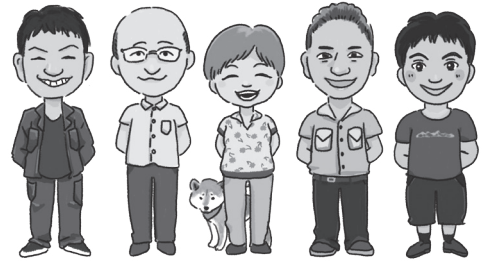
**答** 今後、施設の修繕や浄化槽の維持管理などに大きな費用がかかることが予想されます。施設は無償貸与ですが、雨漏りなどの修繕は管理者負担になるため、その点は行政の支援をお願いしたいです。また駐車場の確保についても考えていただければ・・・

～結び～

今回、当委員会として初めての広聴活動であります。今後、このような機会を持ちたいと考えております。町内でさまざまな活動をされている団体・個人の皆さままで、意見交換会の開催をご希望される場合は、広報広聴委員会へご一報ください。

（14ページと15ページで「しろにし」から提供された資料を掲載しています。）

「しろにし」とは  
 私たち一般社団法人し  
 ろにしは有田川町の二川  
 区にある旧城山西小学校  
 の廃校をリノベーション  
 した施設移住就業支援拠  
 点施設「しろにし」の運営、  
 地域事業所の支援を行っ  
 ています。  
 「しろにし」は簡易宿泊  
 施設、賃貸のシェアハウ  
 ス、カフェ、コインランド  
 リーを備えた複合施設で  
 す。



## 遊ぶように暮らそう。

制作  
 一般社団法人しろにし  
 担当 下村祐輝

「遊ぶように暮らそう。」  
 をキーワードに、地域で  
 は普通の暮らしとして根  
 付いている体験や、暮ら  
 しの中にある遊びの発信  
 を通し、関係人口の創出、  
 移住・定住を支援できる  
 ような様々な企画を行  
 なっています。

旧清水町のエリアはこ  
 の30年で人口が半減して  
 います。仕事をされてい  
 る方は特に担い手不足に  
 悩まされており、事業を  
 続けていくためには外部  
 からの人材獲得が必須で  
 す。

しろにしでは地域の人  
 事部、広報部として地域  
 事業者・農林業者と連携  
 し、人材獲得や研修、情報  
 発信などの支援、施設を  
 活用した企画を行い、「就  
 業」の切り口から地域を  
 盛り上げていきます。

### しろにし施設紹介

カフェの貸切利用や、ご宿泊、長期利用されたい方はお気軽にご相談ください。



▲井戸端カフェしろにし（休業日：水木＋不定休）



▲短期宿泊向けドミトリー（定員8名・相部屋）

▼しろにしエントランス

▼賃貸利用を想定したワンルーム（全11部屋）



イベントレポート

山椒収穫レスキュー

有田川町の特産である山椒ですが、生産の現場では深刻な担い手不足が課題になっています。

特に令和5年度は豊作の年で、農家さんにとって収穫しきれないほどの出来となった事から「山椒収穫レスキュー」と題し取り手を募集した結果、30名近くの方に収穫を支援いただきました。



山椒レスキューの様子

トークイベント



トークイベントの様子

9月9日にしろにしで「二次産業ワーケーション キックオフイベント」として、地方の活性化に尽力されている方をゲストに招いたトークイベントを行いました。未来を考える場として定員を大きく超える皆様にお集まりいただきました。

阪南大学インターン

9月19日から2泊3日で阪南大学の経営情報学科の研究室に所属する学生10名に地域の3社の就業体験をしていただきました。アルミステンレスの加工を行う工場、坂口製作所をはじめ、建設・土木業、林業と幅の広い体験をしていただきました。体験を通して、都市部の学生に地域で行われている仕事のリアルを体感していただきました。



▲しろにしで林業についての講義を実施

◀溶接体験の様子

宿泊のご案内

ドミトリー（相部屋） [定員8名]

1泊	4,180円/泊 <small>(税込)</small>
2泊～6泊	3,850円/泊 <small>(税込)</small>
7泊～15泊	3,300円/泊 <small>(税込)</small>
それ以上	お問い合わせください

バスタオル・フェイスタオル付  
シャワー室完備  
歯ブラシ・レンタルソープ類 各100円(税込)

設備やお食事の詳細はこちらのQRコードより



しろにし公式HP  
宿泊者向けページ

カフェ定休日:水木・不定休(主に平日)  
営業時間:10時～17時  
お飲み物・ケーキをご用意しています。



コインランドリー:年中無休  
営業時間:8時～20時

お問い合わせ 一般社団法人 しろにし

〒643-0542  
和歌山県有田郡有田川町二川 361 番地  
TEL:0737-23-8881  
Mail:info@shironishi.jp  
HP:https://shironishi.jp  
公式ラインアカウント



しろにしサポーターズのご案内

しろにしでは一般社団法人しろにしの取り組みに賛同・ご支援いただける方を「しろにしサポーターズ」として募集しております。会員様には、弊社から広報・採用活動等の事業支援と、施設の利用率などをご提供しています。正会員、賛助会員の枠を設けており、賛助会員は月1,000円からご入会いただけます。しろにしを核とした地域の活性に応援いただける方のご支援はまだ募集しております。詳しくはLINEやメールにてお問い合わせください。



# 広域連携でエリアの魅力化に

産業建設住民常任委員会

7月20日から21日にかけて、福岡県那珂川市、熊本県熊本市で視察研修を行いました。

福岡県那珂川（なかがわ）市は、福岡県の西部にあって大都市福岡市の都心部からわずか13キロメートルのところに位置し、総面積は74・95平方キロメートルの市です。

視察研修を行った「五ヶ山クロス」は、平成31年3月に完成した五ヶ山ダム周辺に点在するアウトドアフィールドです。

福岡都市圏から車で約1時間の距離で、福岡県と佐賀県の県境に位置しており

- ・モンベルが手がける全国初の「キャンプ場」
- ・川遊びが楽しめる「リバーパーク」



キャンプ場の規模は60区画で、必要な道具一式をその場でレンタル可能となっており、初心者でも気軽にキャンプを楽しむことができる施設となっています。

利用割合は、福岡県内の方が89・08%、九州の方が9・93%。九州以外からの来客は約1%で、令和4年度の利用人数は3万1134人。稼働率は36・76%ですが、土曜日の利用は年

・五ヶ山クロスの拠点になる「ベース」

この3つに分かれたサイトの総称が「五ヶ山クロス」で、福岡都市圏から最も近いアウトドアの聖地として、豊かな自然の中でキャンプやサイクリングなどアクティビティを楽しむことができる施設となっています。

間を通してほぼ満室で、リピート率は約25%とのことでした。

モンベルとの連携による実績や効果は

- ・五ヶ山クロスベースにモンベルの直営店があることで、アウトドアの拠点として認知されやすい施設となったこと。

- ・アウトドアを熟知しているモンベルが「山歩き」「地図読み」「クライミング」「カヤック」などのアクティビティイベントの実施や、プロによるレクチャードで集客ができること。

- ・100万人以上の「モンベルクラブ会員」に対する定期的な会報などに掲載可能となり、テレビや雑誌などのメディア取材も多く、PR力の強化が図れること。
- ・また、周辺施設との連携や、隣接している佐賀県吉野ヶ里町との



連携強化を進めることで、情報発信力の強化や更なる魅力向上に期待しているとのことでありました。

本町でも指定管理者制度を活用し、管理運営を民間に任せている施設もあります。しかし、指定管理先

に任せきるのではなく、もっと連携を強化すれば、より良い施設になると思います。

また、近隣市町村と広域で連携を強化すれば、周辺施設も含めエリアでの魅力化、情報発信力の強化に繋がるものだと感じました。





## 町民との意見交換やっています！

議会広報広聴常任委員会

9月26日から27日にかけて、東京都日経ホールと神奈川県大井町で視察研修を行いました。

神奈川県大井町議会の広聴活動を研修しました。大井町議会の広聴活動は、議会基本条例に基づき「町民への情報発信」として行っています。

議長を除く全議員が広報分科会と広聴分科会のいずれかに所属し、全体の責任者が副議長となつているのが特徴です。

意見交換会は年1回、毎年3月議会終了後、新規事業の説明や質疑・質問の内容をおもに報告し、参加者から質問を受けるという形で行っています。

町の面積が約14km<sup>2</sup>しかないため、3から4カ



大井町で開催されている「ぎかいCafe」大井町議会提供

所の会場で開催しております、これまでの参加人数は50人から80人の間で

しかし、13年間も開催していると参加者の減少や固定化などがある

開催方法を見直し、令和5年度から「ぎかいカフェ」と名前を変え、町民が集まる場所へ出向きました。

議員2人が1組となり、3つのテーブルを設けて自由に話し合いができるようにしています。

また、取り組まれている子ども議会の研修を

受けました。

将来、町の担い手になつてほしいという大きな目標で小中学生を対象に開催したり「議場体験ツアー」も行っています。

いま、全国的に議会の広聴活動が行われていますが、何年も続けることや参加してもらう努力の問題があります。

全国の事例も踏まえながら当議会としての取り組みをしていきたいと思っています。

## 読んでもらうって いるか議会広報

議会広報のレベルを上げるため、全国町村議会広報研修会に参加しました。内容は

① 広報を作成するとき  
に写真や新聞記事などを載せる場合、著作権や肖像権、プライバシー権などの侵害が起こる可能性があり確認は十分にとる必要があります。

す。

② 読者を夢中にさせるよう具体的でわかりやすく、印象深く伝えることが大事だと強調し、企画力や編集力、デザイン力につけるといいます。

③ やつてはいけない紙面づくりとしてどんな人を相手につくるか、目をひくレイアウトとして

写真や配置、シンプルな見出しと字体の変化が必要だと指摘します。

これらの指摘は大変重要であり、常に研鑽していく必要があります。





「町民の皆さまへ」

◎次回定例会の予定  
令和5年第4回定例会は12月5日開会予定で、一般質問は12月14日、15日に行う予定です。  
ぜひ、傍聴にお越しください。

◎請願・陳情の受付  
第4回定例会での審議を希望する場合は、11月24日までに議会事務局へ提出してください。

お問い合わせ ☎22-133294  
吉備庁舎4階議会事務局まで

広報広聴常任委員会

- ◎ 増谷 憲
- ◎ 濃添 勇作
- 栗山 昌之
- 本下 雅敏
- 橋原 竜二
- 岡省 吾

◎は委員長  
○は副委員長

編集後記

議会広報広聴常任委員会として常に「議会の見える化」を最大の目標にしながら全議員がチーム議会として町民の皆さんに情報の発信をしていこうと努力しています。

町ホームページから議会の様子を動画で見られるようになり、毎議会の会議録が閲覧・印刷もできるようになっています。

傍聴にお越しいただいた方には、これまでの簡易な質問通告から、より具体的な項目まで入れたものを配布させていただきます。

そして広聴活動として初めて移住就業支援施設「しろにし」と意見交換をしました。

このように、広聴活動にも力を入れて皆さんと懇談をしていきたいと考えています。

(増谷 憲)